

様式第2号（政務活動実施報告書）

2023年 3月29日

井原市議会議長

大 滝 文 則 様

井原市議会議員 西村 慎次郎

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	令和5年3月24日（水）10:00～13:00
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	東京都豊島区東池袋1-6-4 伊藤ビル アットビジネスセンター池袋駅前別館
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	議会改革のエッセンス：要請の多いテーマから
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	大正大学社会共生学部 江藤 俊昭 氏
5. 活動内容	別紙①のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



## 別紙①

### 【研修概要】

【基礎編：「住民自治の根幹」としての議会の作動：議会改革の本史への突入：基本条例】

- (1) 議会改革の本史：議会基本条例の刻印
- (2) 「思いつきではない」改革：議会基本条例に刻み込む
- (3) 議会基本条例の展開
- (4) 住民自治の3つの原則・・議会基本条例は自治のルール

- ① 自治における根幹という意味
- ② 議会運営だけではない（三者間関係のうち、住民―首長関係以外は明記）
- ③ 議会基本条例の構成：住民自治に関する条例

【展開編：議会改革の本史の第2ステージ：議会からの政策サイクル：政策財務の重要性：  
提言とともに監視の重視】

- (1) 形式とともに内容を：住民福祉の向上に連動させる
- (2) 議会からの政策サイクルの発見
- (3) 政策サイクル全体にめぐらされる住民参加
- (4) 議会からの政策サイクルの特徴
  - ① 住民目線⇄執行の論理
  - ② 合議体⇄執行の縦割り行政
  - ③ 少ない資源⇄執行の豊富な資源（財政・人事）

### 【住民と歩む議会の最前線】

○多様性の重視：政治分野における男女共同参画推進法など

○フォーラムとしての議会

- ・アンケート
- ・住民との意見交換会・議会報告会
- ・議会だよりモニター、政策サポーター

○DX：組織を変える（ペーパーレス化だけではない：オンライン議会、広報広聴、AIを  
活用した議事録、災害時の活用）

### 【議会力・議員力をアップさせる自治法改正】

#### ① 兼業禁止

答申では兼業は副業とともに、勤務しながら議員を行う文脈で検討されている。もう1つの兼業である請負の禁止が緩和された。改正前には、請負禁止の要件が未確定であり、議員個人の請負は多寡に関係なく一律に禁止されている。そこで改正では、規制の対象と

なる「請負」の定義の明確化と議員個人による請負に関する規制の緩和（議員個人の請負を一律に禁止せず、政令で定める額を超えないことに変更）となる。個人事業主の場合は300万円以下であれば容認の方向である。

② 自治法における議会の位置づけ・議員の職務の明確化

今後の議会・議員のあり方を考えるベースキャンプとなる。それを超えて、議員を非常勤とみなす誤解の払しょくの議論とも連結できる。自治法旧203条により議員を非常勤とみなす見解が広がっていた。その条文は改正されているものの誤解は是正されていない。それが足枷となって議員報酬議論が進まない。その誤解を是正するために活用したい。今後の議員の身分規定の検討の契機にもなる。

【議員のなり手不足：要因と解消の方途】

なり手不足の要因	解消の方途
魅力の減退（不透明、非活発等）	住民と歩む議会、住民福祉の向上に貢献する議会の創造
条件の悪さ（報酬の低さ、定数減により当選ラインの上昇等）	議員報酬の増額、議会事務局の充実
地域力の減退（立候補予備軍の衰退（高齢化、自営業・農業の変化））	住民福祉向上につながる議会による地域活性化
法制度の拘束（兼職・兼業禁止等）	現場からの法改正提案

【所感】

議会改革に関するセミナーを受講した。最初の1時間は、参加された議員の議会における課題のやりとりがあり、どの市議会も課題をかかえながら、議会改革に取り組まれていることがうかがえた。ほとんどの議会では議会基本条例に基づき、議会活動を行われているが、議会基本条例の見直し時期にきていると言われていた。議会力や議員力を評価できるしくみづくりが必要だと感じた。なかなかそういうものはないようだが、1つのヒントとして、地方議会成熟度評価モデルというものがある。議会からの政策プロセスの評価をするもののようなものである。また、犬山モデルという議会本体に住民参加ができるしくみを紹介いただいた。市民が議会の場で政策提言できるしくみである。実施に向けては、ハードルは高いし、リスクも高いが、研究してみたい。

以上